



キハ104



※写真はイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

◆実車ガイド

- ・南部縦貫鉄道は1962年に千曳—七戸で開業した鉄道で、後に線路切替で生じた旧東北本線の路盤を利用して野辺地まで延伸されました
- ・旅客減少により1997年に運行を休止、2002年に廃止されましたが、現在でも旧七戸駅構内で車両が保存され、一部は稼働状態が保たれています
- ・キハ104は通学需要の増加に対応するため国鉄キハ10形を譲り受けて1980年に登場した車両です
- ・主にラッシュ時に活躍したほか、イベント列車や運行休止直前の多客時にもキハ101・102とともに使用され、廃止後の現在も動態保存されています

【文責:トミーテック】

◆製品化特徴

- ・ハイグレード(HG)仕様
- ・DT22形台車を装備した姿を新規製作で再現
- ・一灯型シールドビームライトを新規製作で再現
- ・タイフォンは「回転形・シャッター形・スリット形」からの選択式
- ・車番・側面サボは印刷済み
- ・ヘッド・テールライトは常点灯基板装備、ON-OFFスイッチ付
- ・ヘッドライトは電球色LEDによる点灯
- ・前面窓Hゴムはグレー、側面窓Hゴムは黒色で再現
- ・フライホイール付動力・黒色車輪採用
- ・M-13モーター採用
- ・TNカプラー(SP)標準装備

◆ここがポイント

POINT:1

一灯型シールドビームとなりDT22形台車を装備した姿を新規製作で再現



写真はイメージです 実際の製品とは異なる場合があります

POINT:2

前面の回転形タイフォンは新規製作の別パーツ(ユーザー取付)で再現



<別売りオプション>
室内灯:<0733>白色

品番	8611	品名	南部縦貫鉄道 キハ10形(キハ104)	セット両数	1両
発売月	2023年9月	JANコード	4543736086116	予価	¥9,130 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	180×30×65mm	パッケージ形態	プラケース

青森県七戸町承認済



※写真は試作品です 実際の製品仕様と異なる場合があります

ワフ1・ワム11



◆実車ガイド

- ・昭和時代多くの私鉄では貨物輸送が重要な地位を占めており、国鉄直通貨車のほか、緩急車などで自社線内専用貨車を保有するケースが多く見られました
- ・1984年まで貨物営業を行っていた南部縦貫鉄道は貨車も保有しておりこのうちワフ1・ワム11は元国鉄ワム3500形の払い下げを受けた車両でワフ1には車掌室が設置されていました

【文責:トミーテック】

◆製品化特徴

- ・南部縦貫鉄道をはじめ、各地の地方私鉄に見られた木造の有蓋緩急車を新規製作で再現
- ・車番印刷済み「ワフ1・ワム11」
- ・黒色車輪採用
- ・ミニカーブ通過可能(ミニカーブ通過可能機関車との連結の場合)

<特記事項>

- ・金型の都合上一部実車と形状が異なります
- ・ワフ1にテールライトはありません

■セット内容



<別売りオプション>
TNカプラー:<0396>自連形

品番	8749	品名	南部縦貫鉄道 ワフ1・ワム11形タイプ貨車セット	セット両数	2両
発売月	2023年8月	JANコード	4543736087496	予価	¥2,090 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	225×30×65mm	パッケージ形態	プラケース

青森県七戸町承認済

レールバス キハ101・102も製品化進行中!



※写真は旧製品です 実際の製品仕様と異なる場合があります

◆実車ガイド

- ・南部縦貫鉄道のキハ101・102は開業時に用意された車両で、バスの車体構造や部品を流用して製造されたのが特徴です
- ・路線休止時まで主力の旅客車両として使用され、廃止後も旧七戸駅構内で動態保存されています

【文責:トミーテック】

路線廃止まで主力車両として活躍し、現在も動態保存される2軸レールバス、キハ101・102も製品化進行中です
詳細決定次第、改めてご案内致します
トミックスの南部縦貫鉄道シリーズにご期待ください

●南部縦貫鉄道を楽しもう!●



旧七戸駅構内には南部縦貫鉄道で活躍したレールバスや機関車などが保存され、イベント開催時には現役時代の光景を味わうことができます。



●並べて楽しめる商品●



ワフ1・ワム11のおともに
ノスタルジック鉄道コレクション各種
(南部縦貫鉄道の機関車とは形状が異なります)



往年の野辺地駅で並んだ
50系客車



現代の七戸町へアクセス
E5系/H5系